

みづゑ第八十九號要目

春(水彩畫原色版)……………	故青木繁
中學生と水彩畫……………	石川欽一郎
繪畫美學(二)……………	服部嘉香
劇の背景(一)……………	山崎紫紅
甲州御嶽の奥(水彩畫原色版)……………	山本森之助
私に畫が描けたら(二)……………	磯萍水
青木繁氏の畫を見た時……………	矢代幸雄
黄泉比良坂(寫真版)……………	故青木繁
記憶に残れる水彩畫(二)……………	三宅克己
上高地(水彩畫原色版)……………	故大下藤次郎
續三脚物語(四)……………	鶴澤四丁
光風會第一回展覽會水彩畫パステル評……………	赤城泰舒
洗濯(水彩畫原色版)……………	篠原新三
寄書……………	問に答ふ……………讀者の領分其他

「みづゑ」の小史

「みづゑ」は明治三十八年七月大下藤次郎の創刊にして、本邦に於ける水彩畫専門研究の最初且つ唯一の雜誌なるのみならず、現存洋畫雜誌中にて最古の歴史を有するものゝ一なり、四十四年十月、大下死去の後は、同人事業の記念として、遺族大下春子及び同正男に於て繼續經營することとなり、故人の親友及び門下生その他斯道専門家の贊助を得て引きつゞき發行す、發刊以來八星霜の間期日を愆みならず、毎月一回づゝ發兌して今日に至れり。